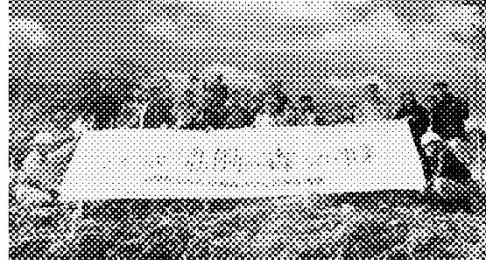


日刊工業新聞 12面

森六は徳島県から、整備した森林での二酸化炭素(CO₂)吸収量を認証する「森林CO₂吸収量証明



森六は徳島県から、整備した森林での二酸化炭素(CO₂)吸収量を認証する「森林CO₂吸収量証明

徳島県からCO₂吸収量証明書

森六、植樹活動でSDGs貢献

書」を取得した。植樹活動の効果として年30・9トンのCO₂吸収量があると承認を受けた。森づくり活動を通して、国連の持続可能な開発目標(SDGs)の達成に貢献していく。

同県と徳島森林づくり推進機構が推進する「とくしま協働の森づくり事業」に参画。同県三好市内にある「IN徳島 森六の森」で社員が参加して植樹活動を進めてきた。

同県は森六の創業の地。同社はグループ環境方針で「環境への配慮」と「地域の環境改善活動への積極的参加」を掲げており、今回の取り組みもその一環となる。

化学工業日報 09面 (GN250902CD002)

森六、森林CO₂吸収量証明書取得
徳島での森づくり活動が評価

森六はこのほど、創業の地である徳島県の徳島森林づくり推進機構が推進する「とくしま協働の森づくり事業」への参画を通じて、8月8日付で同県から「森林CO₂吸収量証明書」の交付を受けたと発表した。

同社は環境負荷低減への貢献を目的に、徳島県三好市山城町瀬目地区に位置する「IN徳島 森六の森」で、少花粉スギの植栽、シカ被害対策な

ど、間伐地の再造林活動を実施してきた。その一環として昨年には社員が参加しての植樹活動を行った。

今回同社の植樹活動の効果として、徳島県から年間30・9トンの二酸化炭素(CO₂)吸収量があることを認証する証明書を付与された。

この数値は、持続可能な社会の実現に向けた具体的な成果を示すものとなる。CO₂30・9トンは、ガソリン車が地球1周約4万キロを3周半以上走る際に発生するCO₂排出量相当のイメージとなる。

森六グループは森六グループ環境方針において、環境への配慮と地域の環境改善活動への積極的参加を掲げている。徳島での森づくり活動も、その一環として持続可能な開発目標「SDGs」達成に資する取り組みとなる。